

# 令和3年度 第二藤花荘事業報告

【施設種別】 障害者総合支援法による障害者支援施設

【利用定員】生活介護事業 40名

【利用定員】施設入所支援事業 40名

【併設事業】

【利用定員】短期入所事業 5名

昨年度同様、新型コロナウイルスによる感染拡大の影響もあり、施設生活全般で制限せざるを得ず、利用者の健康管理に十分配慮すると共に、職員には基本的な感染防止対策（検温、消毒、マスクの着用、不要不急の行動自粛など）を徹底し、感染予防に努めた。

施設整備については、外部との接触をできる限り避けるため必要最小限の整備とし、機械浴を含めた設備等は利用者の現状を考慮しながら検討した。また、感染症対策および非常災害時対策の検討に取り組んだ。給食サービスについては、食の提供のあり方を検討し、外部への委託に向けて話を進めた。

28歳から94歳という利用者間における年齢差を考慮する他、感染対策のため行事や外出、日中活動、家族との帰省・外出・面会の制限や中止などの制約を受けながらの生活ではあったが、利用者が生き生きと安心安全に日々の生活ができるよう、ニーズの実現に努めた。また、家族等へ定期連絡を行い、連携に努めた。

短期入所事業については、受け入れは少なかったが、前年に引き続き個々の体力、能力等を勘案し、個別支援計画に基づき、施設利用者の日課等にあわせて支援を行った。

## 1 事業の目的

当施設は、高齢な知的障害者を主に、重度知的障害者等を対象とした障害者支援施設であり、利用者の年齢、障害の程度、体力、おかれている家庭環境等も非常に多様化にあるため、個別あるいは小集団での生きがいの活動を重視した支援を行うことを目的とした。

## 2 事業方針

法人の基本理念「愛するものは愛される」の精神に基づき、「いたわりあい たすけあい おだやかに ともにくらす」をスローガンに、その実現を目指す支援に努めた。

1 利用者の意思および人格を尊重し、利用者個々のニーズに基づいた適切な支援計

画を作成し、実施した。

- 2 できるだけ居宅に近い環境の中で、家庭や地域との結びつきを重視し、毎日の生活が、心豊かに、生きがいを持って暮らせるよう支援した。
- 3 関係市町村、他の事業者、保健医療機関等との連携を図り、総合的な支援サービスに努めた。
- 4 利用者の自己選択、自己決定ができるよう情報提供に努めた。
- 5 家庭の状況等の把握に努め、相談、支援等適切な助言又は援助にあたり、安心して施設利用ができるよう努めた。
- 6 職員の資質向上と経営意識の向上に努めた。

### 3 事業内容

日中活動と住まいの場を切り離し、利用者の障害、心身の状況、年齢、個々のニーズに基づき、適切な支援、介助、介護に努めた。

方針に基づく内容は、次のとおり。

#### 1 利用者への支援サービス（日課、週間、年間行事計画による）

##### 日中活動支援

##### 生活介護事業

常に介護を要する人に、入浴、排泄および食事、洗濯、掃除等の家事並びに日常生活上の支援、創作的活動等の機会を提供した。

##### (1) 日常生活支援

日々変化する利用者の健康状態を把握し、身体機能の低下、精神的な変化を常に観察し、見守り・声掛けか介助・介護かを見極め、支援した。

また、人生を楽しみ、潤いや生きがいのある生活が送れるよう支援した。

- ① 基本的な生活習慣の習得、保持、介助・介護、健康管理・服薬管理、心理的ケア
- ② 一般社会生活習慣の習得、礼儀作法、金銭管理、対人関係の調整
- ③ 衣服・寝具の管理、清潔保持

##### (2) 創作的活動支援

活動を通して、心豊かに生きがいのある生活が送れるよう支援した。

##### ① 機能訓練

歩行、ラジオ体操、リハビリ、造形、手芸、音楽療法等を通し、心身機能の安定を図れるよう支援した。

・活動グループ 屋内班、屋外班

##### ② レクリエーション活動

歌を歌ったり聴いたり、回想法、映像、運動、遊戯、クラブ活動、趣味の活動等を通し、心身機能の安定を図れるよう支援した。

##### ③ 社会参加

新型コロナウイルスの状況で、買物、飲食、娯楽等を目的とした外出や地域行

事への参加等は実施できなかった。

### (3) 介護予防のための支援

- ① 健康指導を通して自分の身体の状態を知り、身体をいたわりながら元気に生活できるよう支援した。
- ② 栄養指導を通して、疾病の予防および改善に努めるとともに低栄養状態にならないよう気をつけ、利用者が生涯おいしく食べられて、楽しく話し、楽しく笑える生活ができるよう支援した。

## 居住支援

### 施設入所支援事業

施設に入所している人に入浴、排泄、食事などの支援、介助等を提供した。

#### (1) 日常生活支援

望ましい生活習慣や行動様式を身につけ、人生を楽しみ、潤いや生きがいのある生活が送れるように支援した。また、日々変化する利用者の健康状態を把握し、身体機能の低下、精神的な変化を常に観察し、見守り・声掛けか介助・介護かを見極め、支援した。

- ① 基本的な生活習慣の習得、保持、介助・介護、健康管理・服薬管理、心理的ケア
- ② 一般社会生活習慣の習得、礼儀作法、金銭管理、対人関係の調整
- ③ 衣服・寝具の管理、清潔保持

#### (2) 創作的活動支援

活動を通して、心豊かに生きがいのある生活が送れるよう支援した。

##### ① 余暇活動支援

テレビ観賞、音楽鑑賞、趣味の活動を支援することにより、充実した余暇を過ごせるよう支援した。

##### ② 社会参加

新型コロナウイルスの状況で、買物、飲食、娯楽等を目的とした外出や地域行事への参加等は実施できなかった。

## 総合的（日中・居住共通）支援

### (1) 居住環境整備サービス

日常生活が安全、快適で、できるだけ家庭に近い雰囲気を保つよう環境を整えた。

清掃、洗濯、整理整頓、安全管理等

### (2) 保健医療サービス

疾病の早期発見、早期治療、感染症予防および老化予防、健康の保持増進に努め、嘱託医師、保健医療機関等との連携を図り、適切な医療管理、衛生管理にあたった。

健康診断年2回、通院・入院治療と医療記録の管理、服薬管理、施設内治療、施設内の衛生管理、検査情報の提供、家族との連携等

### (3) 食生活サービス

食生活は、健康の保持増進と精神的安定を図るため、適切な食事摂取基準を満たした季節感のあるバランスのよい食事を提供した。

① 行事食、選択メニュー（複数献立）、調理実習等

② 利用者の希望献立の聞き取り

③ 病人食、特別食の実施

### (4) 自治会（こすもすの会）活動支援

ホームごとの開催が多かったが、利用者の自主性、主体性ならびに、共に暮らす仲間としての協調性や思いやりの心を育むことができるよう適切な助言を行った。

自治会の意見は尊重し、施設運営にできるだけ反映した。

### (5) 介護給付費支給外サービス（利用者負担サービス）

社会生活上の便宜、預り金管理サービス等

## 2 市町村、相談支援事業所並びに家族（身元引受人等）との連携強化

ア 市町村、相談支援事業所との連携を図った。

イ 家族並びに身元引受人等との懇談会は新型コロナウイルスの状況で実施できなかった。家庭通信の実施

## 3 地域社会との連携強化

地域行事の多くは中止となったため、交流の機会は持てなかった。

ア 施設だよりの発行（4施設合同、年2回）。

## 4 危機管理体制の強化

ア 火災、地震その他の災害に対する予防については、別紙、第二藤花荘消防計画並びに地震防災規程に遵守した。特に東南海大地震に備え、備蓄品等の確認を行った。

地震防災訓練、避難訓練、通報訓練等 年4回実施。

藤花荘、サン・ワーク藤川、愛厚藤川の里、地元消防団、地域住民との年1回の合同防災訓練は、新型コロナウイルスの状況で実施できなかった。

イ 災害時要援護者避難施設として岡崎市と協定を結んでいる。（受入数10名）

ウ 緊急時における対応については、別に定めるマニュアルに従って適切に対応した。（事故、急病等）

## 5 苦情解決

利用者及び身元引受人等の苦情に迅速かつ適切に対応するために、窓口担当者を

おき、適切に対処した。

## 6 身体拘束の禁止

利用者または他利用者の生命または身体を保護するために緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わなかった。

## 7 虐待防止法の遵守

利用者の人権擁護、虐待防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、職員研修等を実施した。

## 8 職員の資質向上、介助等に対する専門性の強化

ア 職場内外の研修を実施した。

イ 救命救急法の講習に参加し、資格を取得した。

ウ リスクマネジメント技法の習得、「ヒヤリ・ハット体験」に基づく再発防止策の検討を行った。

エ 相談支援事業所との連携を図りながら個別支援計画の策定と支援を実施した。

オ 効率的な施設運営と経費節減に努めた。

## 9 施設運営・整備について

プロジェクター、洗米機、配膳車、ノートパソコン、食器類、トイレ・洗面所・居室・各プレイルーム・食堂床改修工事、屋根防水工事、洗浄機修理、給湯管改修工事、駐車場舗装工事、消防設備機器取替、給食調理業務委託

## 10 障害福祉サービス

### 短期入所事業

短期入所利用者の支援については、個々の障害の程度、体力等を勘案した個別支援計画に基づいて実施した。

また、保護者からの相談並びに他事業所との連絡調整を行った。

## 11 地域生活支援事業

### 日中一時支援事業

日中一時支援利用者の支援については、受け入れは少なかったが、個々の障害の程度、体力等を勘案した個別支援計画に基づいて実施した。

また、保護者からの相談並びに他事業所との連絡調整を行った。

## 1.2 職員関係

諸会議ならびに研修については以下のとおり。

### ア 諸会議

会議名	出席者	実施状況	備考
運営会議	副主任以上	18回	運営全般について
職員会議	全職員対象	13回	運営全般について
支援会議 (ケース検討)	直接処遇職員対象 (看護師、栄養士含む)	12回	利用者支援全般及び利用者の要望や苦情・事故報告、短期利用者の状況等について
非常勤職員会議	施設長、支援係長、非常勤職員	13回	職員会議の内容の報告、勤務内容、常勤職員との意思疎通等全般について
ホーム別支援会議	あおいホーム (男性) わかばホーム (女性)	12回 12回	各ホーム利用者支援について
個別支援会議	サビ管、主任、副主任、 栄養士、看護師	2回	個別支援計画の検討
給食委員会	施設長、栄養士、看護師、調理員、生活支援員代表、利用者代表	12回	献立内容等給食全般、栄養士・支援員との意思疎通等全般について
調理員会議	施設長、栄養士、調理員	3回	調理における諸問題について
各種委員会	各委員会担当職員	随時	
自治会 (こすもすの会)	利用者、補助職員 (支援員)	12回	利用者の要望等について
施設運営連絡会議	藤花荘・第二藤花荘 サン・ワーク藤川代表者 グループホーム代表者	11回	4施設の情報交換、連絡調整について

### イ 委員会

委員会名	実施状況	職務内容
苦情解決委員会	随時	受付担当者の報告により検討
施設内研修委員	随時	職員の資質や意欲の向上
地域交流、ボランティア委員会	随時	地域交流・ボランティア受け入れに関する検討、実施
行事委員会	随時	施設内外の行事企画等に関する検討
施設だより編集委員	随時	施設発行に基づく企画編集等全般
虐待防止委員会	随時	虐待防止についての検討
地震防災検討委員会	随時	備蓄品や防災用品等に関する検討
感染症対策委員会	随時	感染症及びまん延の予防等に関する検討

ウ 施設外研修

主催者名	実施状況	対象者
愛知県社会福祉協議会、福祉協会等各種研修	9回	全職種
愛知玉葉会施設長会・役員会	14回	施設長
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	1回	生活支援員

エ 施設内研修

実施月日	研修内容	対象職員
9月 7日	医療について（リハビリ）	直接処遇職員
11月 2日	スキンケアと紙おむつについて	全職員
12月 7日	医療について（リハビリ）	直接処遇職員
1月 11日	救命講習	生活支援員 栄養士 看護師
2月 1日	多様性を認めた支援について	全職員
3月 1日	手洗いの仕方、救急救命について	全職員

## 年間行事計画表〔施設〕 報告書

令和3年度

月	全体行事	対外行事	保健行事
4	家族との懇談会〔中止〕	家族会総会〔中止〕	医療保健計画の説明会〔中止〕 定期健康診断〔28日〕
5	GW帰省〔5/3日～5/5日〕〔中止〕 端午の節句会〔11日〕	むらさき麦まつり〔中止〕 町民体育祭〔中止〕	
6			生活習慣病健診(職員35歳以上)〔随時〕
7	七夕会〔6日〕 定期清掃(業者へ委託)	家族会例会〔中止〕 愛厚藤川の里夏まつり〔中止〕	X線(利用者、職員)〔29日〕 健康診断(職員～35歳未満)〔29日〕 生活習慣病健診(利用者)〔29日〕 生活習慣病健診ポータブルレントゲン〔29日〕 歯科健診〔中止〕 コロナウイルスワクチン接種(1回目)〔21日〕
8	盆帰省〔8/13日～8/15日〕〔中止〕 防災訓練〔31日〕	学区夏まつり(学区)〔中止〕	コロナウイルスワクチン接種(2回目)〔11日〕
9	総合防災訓練〔中止〕 慰霊祭〔中止〕 敬老の祝い〔14日〕 バーベキュー〔28日〕 防災訓練〔22日〕	敬老会(学区)〔中止〕	リハビリ研修〔7日〕
10		藤花荘ふれあいまつり〔中止〕 学区作品展〔中止〕 町内防災訓練〔中止〕 ハロウィン〔24日〕	定期健康診断〔13日〕
11	開設22周年記念行事〔1日〕 定期清掃(業者へ委託)		インフルエンザワクチン接種〔24日〕
12	クリスマス会〔23日〕 年末年始帰省〔12/29～1/3〕〔中止〕 防災訓練〔27日〕		リハビリ研修〔7日〕
1	新年会〔7日〕	市障害者作品展 〔1/21～25〕	救命講習〔11日〕
2	節分会〔3日〕		健康チェック(職員)〔随時〕 夜勤者のみ一般検査〔随時〕 コロナウイルスワクチン接種(3回目)〔16日〕
3	ひなまつり会〔3日〕 防災訓練〔22日〕 定期清掃(業者へ委託)		

\*誕生者食事会は毎月第3火曜日に行った。

\*細菌検査(赤痢、サルモネラ菌、大腸菌)は毎月実施した。



職員状況

1. 職員の配置状況

(令和4年3月31日現在)

職種	施設長	サービス 管理責任者	生活 支援員	看護師	栄養士	調理員	事務員	嘱託医師	その他	計
常勤	1	1	14	1	1	1	1	0	0	20
臨時	0	0	2	0	1	1	0	0	0	4
非常勤	0	0	5	0	0	0	1	2	1	9

利用者の状況

1. 市町村別人員

(令和4年3月31日現在)

市町村	人員	市町村	人員	市町村	人員	市町村	人員	市町村	人員	
安城市	1	碧南市	1	西尾市	2					
一宮市	2	豊橋市	1	名古屋市	3					
岡崎市	18	東海市	1	東浦町	1					
蒲郡市	2	豊田市	4							
									計	36

2. 定員及び現員

(令和4年3月31日現在)

区分	定員	障害程度区分						計
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男	20	0	0	0	1	2	15	18
女	20	0	0	0	5	6	7	18
計	40	0	0	0	6	8	22	36
%		0%	0%	0%	17%	22%	61%	100%

3. 年齢別人員調べ

(令和4年3月31日現在)

区分	20歳 未満	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上	計	平均年齢
男	0	1	1	3	3	4	3	3	18	62.5
女	0	0	1	4	1	4	4	4	18	64.7
計	0	1	2	7	4	8	7	7	36	63.6
%	0%	3%	6%	19%	11%	23%	19%	19%	100%	

4. 在籍年数

(令和4年3月31日現在)

区分	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上	計
男	1	4	0	0	1	12	18
女	2	5	3	0	0	8	18
計	3	9	3	0	1	20	36
%	8%	25%	8%	0%	3%	56%	100%

5. 入退所状況

(令和3年度)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月
入所	男	0	1	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	0
退所	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	1	1

  

区分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	男	0	0	0	0	0	0	1
	女	1	0	0	0	0	0	2
退所	男	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	1	0	0	0	0	4

6. 重複障害者別調べ

(令和4年3月31日現在)

区分	てんかん	精神疾患	肢体不自由	難聴	視覚障害	言語障害	自閉症	その他	計
男	5	3	3	0	2	2	5	1	21
女	7	6	3	2	0	1	1	0	20
計	12	9	6	2	2	3	6	1	41

7. 食事形態

(令和4年3月31日現在)

区分	粥食	極きざみ食	きざみ食	とろみ
男	2	5	3	5
女	2	2	5	4
計	4	7	8	9

8. 各種福祉手帳所持状況

(1)療育(愛護)手帳

(令和4年3月31日現在)

区分	A(1・2度)	B(3・4度)	C	計
男	15	3	0	18
女	11	7	0	18
計	26	10	0	36

## (2) 身体障害者手帳

(令和4年3月31日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
男	1	1	1	2	0	0	5
女	0	2	1	1	0	0	4
計	1	3	2	3	0	0	9

## 9. 身元引受人・成年後見人状況

(令和4年3月31日現在)

区分	身元引受人						成年後見人			
	親	兄弟	その他親族	血縁者以外	なし	計	血縁関係者	その他	なし	計
男	7	7	3	0	1	18	1	4	13	18
女	5	8	1	1	3	18	1	4	13	18
計	12	15	4	1	4	36	2	8	26	36

## 10. 面会・帰省状況 [実人数]

(令和3年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	面会	2	1	1	2	1	0	4	2	5	2	2	24
	外出	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	5
	外泊	2	0	0	0	0	0	5	4	0	0	0	11
女	面会	1	1	2	2	3	1	4	5	7	1	2	30
	外出	1	0	0	0	0	0	3	3	7	1	1	16
	外泊	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
計	面会	3	2	3	4	4	1	8	7	12	3	4	54
	外出	1	0	0	0	0	0	4	5	8	1	1	20
	外泊	2	0	0	0	0	0	6	5	0	0	0	13

## 11. 疾病処置状況

## (1) 通院状況 [実人数]

(令和3年度)

区分	内科	神経内科	精神科	外科	整形外科	眼科	歯科	口腔外科	皮膚科		
	内診									内診	
男	5	18	2	1	11	0	5	2	2	0	0
女	7	21	3	0	11	1	8	2	3	1	2
計	12	39	5	1	22	1	13	4	5	1	2
区分	泌尿器科	内分泌科	脳神経外科	消化器内科	消化器外科	てんかんセンター科	救急外来	計			
男	2	0	0	0	0	0	0	48			
女	2	1	1	1	1	1	1	67			
計	4	1	1	1	1	1	1	115			

## (2) 入院状況 [実人数] (令和3年度)

病院名	岡崎市民病院		岡崎南病院	計
	泌尿器科	脳神経外科	内科	
男	0	0	1	1
女	2	1	2	5
計	2	1	3	6

## 1 2. 日中一時支援利用者状況 [実人数]

(令和3年度)

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間未満	2時間以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時間以下	2時間超 ～ 4時間以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時間以下	4時間超 ～ 6時間以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6時間超 ～ 8時間以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時間以上	8時間超	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 1 3. 給食状況

食事摂取基準

(令和3年度)

	基準	実施要量内訳表
エネルギー (Kcal)	1672	1702
たんぱく質	54.9	63.7
脂質 (g)	41.9	52.9
カルシウム (mg)	584	760
鉄 (mg)	7.3	6.9
レチノール当量 ( $\mu$ g)	627	633
ビタミンB1 (mg)	1.0	0.89
ビタミンB2 (mg)	1.15	2.64
ビタミンC (mg)	100	77

14. ボランティア受入状況

(令和3年度)

団体名・個人	実施方法	回数	活動内容
個人	月1回	1回	音楽クラブ
個人	月1回	2回	書道教室

15. 福祉体験・交流会 [実人数]

(令和3年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
園児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

16. 実習生受入 [実人数]

(令和3年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

17. 支援費基準額表

(1) 介護給付費

(令和3年度)

生活介護	区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	単位	476	476	524	585	853	1,147
	人員	0	0	2	4	12	20

  

施設入所支援	区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
	単位	171	171	236	312	387	459
	人員	0	0	0	6	8	22

加算内容	人数	単位
入所時特別支援加算	2	30
地域移行加算	0	500

※ 入所時特別支援加算は開始日より30日間算定される。

(2) 日中一時支援費

(令和3年度)

岡崎市	市町村の単価による
幸田町	市町村の単価による

18. 短期入所利用者状況

(1) 利用状況 [実人数]

(令和3年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4
女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	5

(2) 短期入所支援費

(令和3年度)

	区分	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6
区分単価	標準通常単価	498	570	634	767	903
	他利用単位	169	235	311	516	589

共通単価		単価		
短期利用 加算	栄養士 加算	食事提供 加算	重度障害者 支援加算	常勤看護 職員等配置 加算
30	22	48	50	4